

特集 令和3年度 三島市の予算

令和3年度予算案が市議会2月定例会で可決されました。一般会計予算は361億9,000万円で、対前年度比4.9%（18億6,000万円）減となりました。特別会計を含めた予算の総額は、648億1,737万8,000円です。

☎財政課 ☎983・2622

令和3年度 三島市 施政方針

ポストコロナを見据え 市民の安心と希望に向けた 着実前進型予算

三島市長 豊岡 武士



市議会2月定例会で、豊岡市長が述べた令和3年度予算案の基本方針について概要を掲載します。

私は、職員への新年のあいさつに「レジリエンス」という言葉を使いました。レジリエンスには、「回復力」や「復元力」といった意味合いがございいますが、コロナ禍の困難な状況の中でも折れることなく、しなやかに回復し、乗り越えていく、という意気込みを職員に伝えたわけであります。

しかし、行政の力だけでは、暮らしと社会経済を回復させ持続的発展に結ぶためにレジリエンスを発揮することは困難であります。市民、団体、企業の皆様一丸となって力を合わせ、どうしたらよいか共に考え、共に創り上げて

いくことが重要であり、これまでの「協働」からさらに1歩進んだ『共創』の取り組みを強く推し進めていくことが、目前のコロナ禍への対応はもとより、ポストコロナの持続的発展を見据え、さらには2030年に向けた国際社会共通の目標であるSDGsも視野に入れたまちづくりを推進していくことに繋がっていくものと確信しております。

さて、令和3年度でございますが、三島市の市制80周年の記念の年であります。本市の歴史、伝統文化、湧水とせせらぎ、産業などを機に改めて周知を図るとともに、今後の更なる磨き上げと発展に向けた機運の醸成を図っていく考えであります。

【歳入】

歳入では、その根幹を成す市税において、新型コロナウイルス感染症の影響などから、個人市民税、法人市民税とも減少が見込まれたほか、健康志向の高まりによる市たばこ税の減、固定資産税におきましても土地の税額据え置き措置がとられる中、緊急経済対策の一環である特例措置による減収が想定されるなど、前年度当初予算額に比べ減収が見込まれました。

【歳出】

歳出では、市民文化会館施設整備事業や南二日町住宅改修工事、三島駅南口再開発に向けた特別会計への繰出金の完了などで減額が見込まれた一方、進出企業に対し用地取得費などを支援する企業立地事業費補助金の増加、給食費の公会計化に伴う学校給食費徴収管理事業の新規計上などから、前年度当初予算額に比べ増額が見込まれました。

私はこの予算を「ポストコロナを見据え 市民の安心と希望に向けた 着実前進型予算」と考え、迎えます令和3年度当初予算案におきましては、困難を乗り越え、持続的発展に向け着実に歩みを進めていくという決意を盛り込みました。

CHECK!

予算の基本方針「3つの柱」

第1の柱

ポストコロナに向け発展を続ける都市基盤と
品格のあるガーデンシティのまちづくり



第2の柱

新しい生活様式で進化するスマートウェルネスと
一人ひとりが輝く教育・文化の推進



第3の柱

絆で守る安全・安心と
誰もが生き生きと暮らすコミュニティづくり

